

令和3年 春の特別展

# チュールリップフェア 70年の歩み

— 花、人輝く —

●開館時間

9:00~17:00

2021年

4/22<sup>木</sup>~5/18<sup>火</sup>

〈休館日〉毎週月曜日・第3日曜日

●会場

砺波市立 砺波郷土資料館

〒939-1382 富山県砺波市花園町1-78

TEL 0763-32-2339 FAX 0763-32-2436

チュールリップフェア期間中

4月22日(木)~5月5日(水・祝)

〔開館時間〕8:30~17:30

※チュールリップフェア期間中は無休

(チュールリップフェアのチケットが必要です)



主催：砺波市立 砺波郷土資料館 共催：(公財) 砺波市花と緑と文化の財団

# 70回目を迎える となみチューリップフェア その歩みを辿る

令和3年 春の特別展  
チューリップフェア  
70年の歩み  
— 花、人輝く —



チューリップ百万ドルの行進 (昭和27年)

## 原点

GENTEN

となみチューリップフェアの会場である  
砺波チューリップ公園には、もともと果樹や  
野菜などの研究・試験を行う富山県農業  
試験場出町園芸分場がありました。

ここで昭和26年に、試験場の研究やチューリップへの  
関心を高めてもらおうと、場内で栽培されていた満開の  
チューリップ畑の一般公開が企画されました。この催しが  
チューリップフェアの第一歩となります。



## 開幕

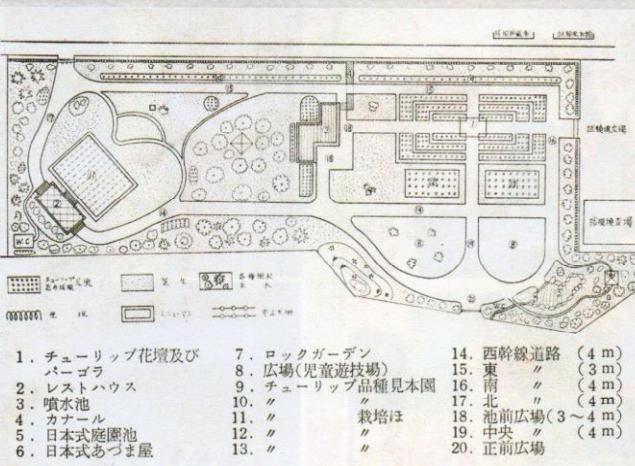
KAIMAKU

その翌年の昭和27年には記念すべき  
第1回目のチューリップフェアが開幕します。

この年は出町・庄下・五鹿屋・油田・  
林・中野の一町五村が合併し、砺波市の

原型となる「砺波町」が誕生した年でもあります。

新たな町の始まりを祝賀する行事として、始まりの  
チューリップフェアも盛大に開催されました。



砺波チューリップ公園の計画図 (昭和38年)

## 発展

HATTEN

昭和38年からチューリップ公園の整備  
が進み、昭和47年にはそのシンボルでも  
あるチューリップタワーが完成します。

また昭和58年には山形県長井市・静岡  
県下田市・鹿児島県和泊町とのフラワー都市交流協議会  
を結成し、平成13年には姉妹都市提携国のオランダから  
風車を移設するなど、地域を越えた交流も盛んに行われ  
ながらチューリップフェアは発展してきました。

そして今年、新たなタワーと共にチューリップフェアは  
70回目を迎えます。